

第四錦林小学校との教育連携プログラム第2回を実施しました。

日時：平成26年7月16日（水） 10:45～11:45

内容：ゾウの糞の肥料を活用した生活科学習プログラム

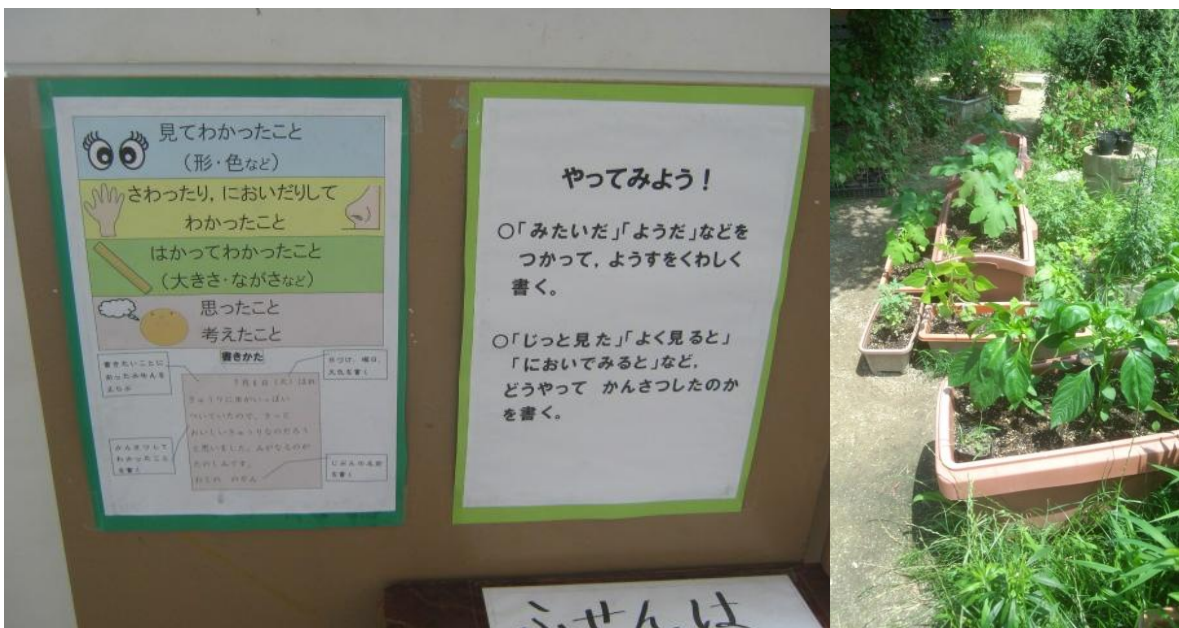
1. ゾウの糞の乾燥標本及びゾウの糞の肥料をもって、自転車で小学校へ



2. 第四錦林小学校には、遠足に来た時の写真や京都新聞の連載記事の紹介が掲示してありました。



3. また、すでに取り組んでいる野菜作り（サツマイモ、ミニトマト、キュウリ、ダイズ、オクラ、ナス、インゲン、ピーマン）を通した学習も進められていました。



4. 教室でゾウの糞の肥料が出来るまでの課程を説明



5. ビオトープ横グラウンドでシートを広げ、砂・腐葉土を混ぜます。その後、ゾウの糞の肥料のにおいなども確認しつつ、さらに混ぜ合わせます。



6. 混ぜ合わせたら、プランターに土入れします。みんなで力をあわせてよいしょ！



7. いよいよ植付けです。今回は「キュウリ」を選びました。

プランターに入れた土をならし、穴を掘り、その穴に苗を入れます。



そして、たっぷりと水もあげます。



8. 植え付けが出来たら、しっかり手を洗い、教室にもどります。



9. 教室でまとめを行い、今回の授業は終了です。

なお、後日プランターには、他の学年の児童も何をしているか分かりやすいように看板が設置されました。



※京都新聞の取材があり、翌日の朝刊で紹介されました。

